

2010年世界農林業センサス

農林業経営体調査結果報告書

(平成22年2月1日調査)

酒田市総務部情報管理課

は し が き

この報告書は、農林水産省が平成22年2月1日現在で実施した2010年世界農林業センサス農林業経営体調査の本市分の結果をまとめたものです。

この調査は、農林業施策の的確な推進に資するよう、農林業の生産構造、就業構造及び農林業生産が行われている地域実態と変化を明確にする調査であり、昭和25年以降10年ごとに世界農林業センサスとして実施するとともに、その中間年に農業センサスを実施しており、今回は世界農林業センサスとしては7回目、農業センサスとしては13回目となっております。

この調査結果が本市の農業の現状と動向を把握する基礎資料として広くご活用いただければ幸いです。

最後に、この調査にあたりご協力をいただきました農家の皆様をはじめ調査員、農業関係各位に対し深く感謝を申し上げますとともに、今後ともなお一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年8月

酒田市総務部情報管理課長

渡 会 恭 司

目 次

利用者の方へ	1
--------------	---

【農家について】

(1) 総農家数	3
(2) 専業別農家数(販売農家)	3
(3) 自営農業に主として従事した年齢別世帯員数	3

【経営耕地について】

(1) 経営耕地面積【農業経営体(総数)】	4
(2) 経営耕地面積【農業経営体(家族経営)】	4
(3) 経営耕地面積規模別経営体数及び経営耕地面積【農業経営体(総数)】	4
(4) 経営耕地面積規模別の経営耕地面積の構成割合【農業経営体(総数)】	5

【農業生産及び販売について】

(1) 過去1年間に稲を作った農業経営体数(総数)と経営耕地面積	6
(2) 施設園芸のある農業経営体数(総数)と施設面積	6
(3) 家畜等の生産【農業経営体(家族経営)】	6
(4) 農産物販売金額規模別農業経営体数(総数)	7
(5) 農産物販売金額規模別農業経営体数(家族経営)	7

【旧村別集計表】

総農家数及び土地持ち非農家数	8
経営耕地面積【農業経営体(総数)】	9
経営耕地面積規模別経営体数【農業経営体(総数)】	10

【 利用者の方へ 】

1 2010年世界農林業センサス農林業経営体調査の概要

調査の目的

この調査は、農林業の生産構造、農業・林業生産の基礎となる諸条件等を総合的に把握することによって、農林業の基本構造の現状と動向を明らかにし、農林業施策及び農林業に関して行う諸統計調査に必要な基礎資料を整備することを目的としている。

調査の期日

平成22年2月1日現在

2 利用上の注意

数値について

今回公表の数値は、確定値です。

調査結果の概要及び付表の数値については秘密保護の観点から公表しないものがあるため、総数とその内訳を合計したものとが一致しない場合があります。

表中の符号について

「－」は事実のないもの

「0」は単位に満たないもの

「△」は減少したもの

3 定義及び約束事項

農業経営体

農産物の生産を行うか又は委託を受けて農林業作業を行い、生産又は作業に係る面積・頭数が、次の規定のいずれかに該当する事業を行う者をいう。

なお、2010年世界農林業センサスでは、販売農家、農家以外の農業事業体及び農業サービス事業体を合わせた者となる。

(1) 経営耕地面積が30a以上の規模の農業

(2) 農作物の作付面積又は栽培面積、家畜の飼養頭羽数又は出荷羽数、その他の事業の規模が次の農林業経営体の外形基準以上の農業

①露地野菜作付面積	15a
②施設野菜栽培面積	350m ²
③果樹栽培面積	10a
④露地花き栽培面積	10a
⑤施設花き栽培面積	250m ²
⑥搾乳牛飼養頭数	1頭
⑦肥育牛飼養頭数	1頭
⑧豚飼養頭数	15頭
⑨採卵鶏飼養羽数	150羽

	<p>⑩ブロイラー年間出荷羽数 1,000羽</p> <p>⑪調査期日前1年間における農業生産物の総販売額50万円に相当する事業の規模</p> <p>(3)農作業の受託の事業</p>
農 家	<p>平成22年2月1日現在の経営耕地面積が10a以上の農業を営む世帯又は経営耕地面積が10a未満であっても調査期日前1年間の農産物販売金額が15万円以上の世帯(例外規定農家)をいう。</p> <p>「農業を営む」とは、営利又は自家消費のために耕種、養畜、養蚕、又は自家生産の農作物を原料とする加工を行うことをいう。</p> <p>なお、集落営農等協業経営体の参加者については、その経営体へ出資している経営耕地を除いて上記の条件を満たす場合に該当する。</p>
販 売 農 家	経営耕地面積が30a以上又は農産物販売金額が50万円以上の農家をいう。
自給的農家	経営耕地面積が30a未満で、かつ農産物販売金額が50万円未満の農家をいう。
土地持ち非農家	農家以外で耕地及び耕作放棄地を合わせて5a以上所有している世帯をいう。
専 業 農 家	世帯員の中に兼業従事者が1人もいない農家をいう。
兼 業 農 家	世帯員の中に兼業従事者が1人以上いる農家をいう。
第1種兼業農家	農業所得を主とする兼業農家をいう。
第2種兼業農家	農業所得を従とする兼業農家をいう。
経 営 耕 地	<p>農業経営体が経営している耕地(田、畑及び樹園地の計)をいう。</p> <p>経営耕地＝所有地(田、畑、樹園地)－貸付耕地－耕作放棄地＋借入耕地</p>

4 経営耕地の取扱いについての留意点

(1) 今回の調査は、集落営農組織等の協業経営体も調査対象となっているため、集落営農等協業経営体で経営している耕地については、農家の経営耕地面積には含まれず、協業経営体の経営耕地として扱っている。なお、本市は集落営農の組織率が高いため、その影響が大きく、これまでの結果との単純比較はできない。

(2) 他の市町村や他の都道府県に通って耕作している耕地でも、すべてその農林業経営体の経営耕地として扱う。したがって、本市の経営耕地面積として計上されているものは、本市に居住している農林業経営体が経営している経営耕地の面積であり、いわゆる属人統計である。

【農家について】

(1) 総農家数

平成22年2月1日現在の本調査における農家数は、2,705戸となり、前回に比べ1,735戸(39.1%)減少している。
これは、本調査において、下記の※印のとおり、『農家』が定義されているため、集落営農の組織率が高い本市においては、その影響を大きく受け、減少したものである。

(注意)※ 本調査において集落営農等協業経営体で経営している耕地は農家の経営耕地とはせず、協業経営体の経営耕地として扱うため、その部分を農家の経営耕地から除いた上で、農家の条件を満たす場合のみ農家数として計上されている。
そのため、例えば所有するすべての土地を集落営農等で経営していた場合、本調査における『農家数』には含まれない。

<表1> (単位:戸、%)

区分	農家数	対前回	
		増減数	増減率
平成22年	2,705	△ 1,735	△ 39.1
17年	4,440		

(2) 専兼業別農家数(販売農家数)

専兼業別農家数をみると、「専業農家」は351戸(構成比18.2%)、「第1種兼業農家」は537戸(同27.9%)、「第2種兼業農家数」は1,037戸(同53.9%)となっている。

また、本調査において、集落営農等協業経営体で経営する耕地は、農家の経営耕地とはせず、その組織の経営耕地として計上し、販売農家であるか否かはその耕地以外の部分で条件に該当するかで判断される。そのため、集落営農の組織率の高い本市においては販売農家数が大きく減少している。

<表2> (単位:戸、%)

区分	農家数	専業農家		兼業農家					
		計	構成比	計	構成比	第1種	構成比	第2種	構成比
平成22年	1,925	351	18.2	1,574	81.8	537	27.9	1,037	53.9
17年	3,919	588	15.0	3,331	85.0	1,144	29.2	2,187	55.8

※(参考)本市の集落営農組織数(平成22年2月1日現在) 83組織(本市農政課より)

(3) 自営農業に主として従事した年齢別世帯員数

前回調査からの実数が大きく減少しているが、これは本調査において「自営農業」に集落営農等協業経営体へ従事した部分が含まれないためである。

年齢の構成比をみると、39歳以下は大きく変わらず、40～64歳で男女とも微増、65歳～74歳で男女とも減少している。また、75歳以上の割合が男女ともに増加している。

<表3> (単位:人、%)

区分		計		39歳以下		40歳～64歳		65歳～74歳		75歳以上	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
※平成22年	実数	1,752	1,602	187	96	715	638	445	455	405	413
	構成比	100.0	100.0	10.7	6.0	40.8	39.8	25.4	28.4	23.1	25.8
17年	実数	3,504	3,481	336	225	1,322	1,365	1,112	1,240	734	651
	構成比	100.0	100.0	9.6	6.5	37.7	39.2	31.7	35.6	21.0	18.7
構成比増減				1.1	△ 0.5	3.1	0.6	△ 6.3	△ 7.2	2.1	7.1

※「自営農業」には、集落営農等協業経営体で従事した部分は含まれない。

【経営耕地について】

(1) 経営耕地面積【農業経営体(総数)】

すべての農業経営体をあわせた経営耕地面積は、前回調査に比べ、11,497a(△1.0%)減少した。内訳としては、田の経営耕地面積は4,281a(0.4%)の増加、畑の経営耕地面積は11,952a(△12.8%)の減少、樹園地の経営耕地面積は3,826a(△16.4%)の減少となった。

<表4>

(単位:a、%)

区分	経営耕地面積		田		畑		樹園地	
	面積	対前回増減率	面積	対前回増減率	面積	対前回増減率	面積	対前回増減率
H22年	1,109,522		1,008,450		81,519		19,553	
17年	1,121,019	△ 1.0	1,004,169	0.4	93,471	△ 12.8	23,379	△ 16.4

(2) 経営耕地面積【農業経営体(家族経営)】

家族経営の農業経営体の経営耕地面積は、前回調査に比べ、585,718a(△53.2%)減少した。内訳としては、田の経営耕地面積は570,622a(△57.5%)の減少、畑の経営耕地面積は11,263a(△13.1%)の減少、樹園地の面積は3,833a(△16.4%)の減少となった。

田の経営耕地の減少については、本調査において、集落営農等協業経営体で経営する耕地は、その組織の経営耕地として計上し、家族経営の農業経営体の経営耕地には含まれないため、集落営農の組織率の高い本市においてはその影響により大きく減少している。

<表5>

(単位:a、%)

区分	経営耕地面積		田		畑		樹園地	
	面積	対前回増減率	面積	対前回増減率	面積	対前回増減率	面積	対前回増減率
H22年	516,003		421,570		74,917		19,516	
17年	1,101,721	△ 53.2	992,192	△ 57.5	86,180	△ 13.1	23,349	△ 16.4

(3) 経営耕地面積規模別経営体数及び経営耕地面積【農業経営体(総数)】

経営耕地面積規模別農業経営体数(総数)をみると、経営体数が大きく減少し、20.0ha以上の経営体数が増加している。これは、本調査において、集落営農等協業経営体で経営している耕地は、農家の経営耕地とはせず、その組織の経営耕地として計上するため、集落営農の組織率の高い本市において、その影響を大きく受けたことによるものである。また、農家の経営耕地において、協業経営体の耕地を貸付地として扱い、農家の経営耕地から除いた上で計上されるため、規模の小さい経営体もあわせて増加した。

<表6>

(単位:経営体、%)

区分	農業経営体数		農業経営体構成比		構成比増減
	H22	H17	H22	H17	
計	2,137	4,003	100.0	100.0	-
0.5ha未満	406	338	19.0	8.4	10.6
0.5～1.0	391	553	18.3	13.8	4.5
1.0～2.0	420	905	19.6	22.6	△ 3.0
2.0～3.0	243	745	11.4	18.6	△ 7.2
3.0～5.0	276	951	12.9	23.8	△ 10.9
5.0～20.0	309	500	14.5	12.5	2.0
20.0～100.0	80	11	3.7	0.3	3.4
100.0ha以上	12	0	0.6	0.0	0.6

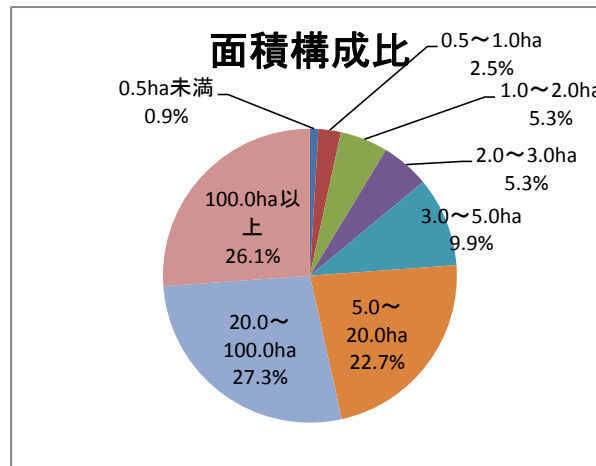
(4) 経営耕地面積規模別の経営耕地面積の構成割合【農業経営体(総数)】

経営耕地面積規模別の経営耕地面積の構成割合をみると、経営耕地規模が20ha以上のものが経営耕地の半分以上を占める。これは、集落営農等協業経営体が組織されたことや農業生産法人の設立などよるところが大きい。

<表7> (単位:a、%)

区分	実面積 H22	面積構成比 H22
計	1,109,522	100.0
0.5ha未満	10,282	0.9
0.5～1.0	27,298	2.5
1.0～2.0	58,565	5.3
2.0～3.0	59,041	5.3
3.0～5.0	109,484	9.9
5.0～20.0	251,453	22.7
20.0～100.0	303,346	27.3
100.0ha以上	290,053	26.1

図1 経営耕地面積規模別の経営耕地面積集積割合



【農業生産及び販売について】

(1) 過去1年間に稲を作った農業経営体数(総数)と経営耕地面積

稲を作った農業経営体数は、前回に比べ大きく減少している。これは、集落営農等協業経営体で経営している耕地は農家の経営耕地とはせず、協業経営体の経営耕地として扱っているため、集落営農の組織率の高い本市においては、その影響を大きく受けた結果大きな減少となっている。また、稲を作った田の面積は、前回調査に比べ、7,964a(△1.0%)減少した。

<表8> (単位:経営体、a、%)

区分	経営体数	稲を作った田の経営耕地面積
H 22	1,301	769,128
17	3,682	777,092
増減数	△ 2,381	△ 7,964
増減率	△ 64.7	△ 1.0

※(参考)本市の集落営農組織数(平成22年2月1日現在) 83組織(本市農政課より)

(2) 施設園芸のある農業経営体数(総数)と施設面積

施設園芸のある農業経営体数(総数)は、前回に比べ55経営体(△7.7%)減少している。また、面積については1,469a(△8.1%)減少している。

<表9> (単位:経営体、a、%)

区分	ハウス		
	経営体数	面積	平均面積
実数 H22	663	16,693	25.2
H17	718	18,162	25.3
増減数	△ 55	△ 1,469	△ 0.1
増減率	△ 7.7	△ 8.1	△ 0.5

(3) 家畜等の生産【農業経営体(家族経営)】

飼養している農業経営体(家族経営)について、平成17年に比べ、乳用牛は15経営体で2経営体(15.4%)の増、肉用牛は62経営体で15経営体(△19.5%)の減、豚は15経営体で8経営体(△34.8%)の減、採卵鶏は4経営体で3経営体(△22.5%)の減となっている。また、頭羽数については、乳用牛が132頭(40.6%)の増加、肉用牛が219頭(10.6%)の増加、豚が3,939頭(△39.5%)の減少、採卵鶏が4,064羽(43.5%)の減少となっている。

<表10> (単位:経営体、頭、羽、%)

区分	乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏	
	飼養経営体数	頭数	飼養経営体数	頭数	飼養経営体数	頭数	飼養経営体数	羽数
実数 H 22年	15	457	62	2,286	15	6,037	4	5,275
17年	13	325	77	2,067	23	9,976	7	9,339
増減数	2	132	△ 15	219	△ 8	△ 3,939	△ 3	△ 4,064
増減率	15.4	40.6	△ 19.5	10.6	△ 34.8	△ 39.5	△ 42.9	△ 43.5
一経営体あたり頭羽数	H 22年 30.5		36.9		402.5		1318.8	
	17年 25.0		26.8		433.7		1334.1	

(4) 農産物販売金額規模別農業経営体数(総数)

県平均と比べ、300万円以上の割合が高く、50万円未満～300万円以下の区分の割合が低くなっている。集落営農等の協業経営体が増えたことにより、規模が大きい経営体が増えた。あわせて、集落営農等協業経営体の経営する耕地による販売は、その組織の販売額として計上し、農家の販売額はその部分を除いて算定されるため、小規模な経営体も増加した。

<表11>

(単位:経営体、%)

区分	H22酒田市		(参考)H22山形県		構成比 比較
	経営体数	構成比	経営体数	構成比	
計	2,137	100.0	40,831	100.0	-
販売なし	163	7.6	1,940	4.7	2.9
50万円未満	282	13.2	7,136	17.5	△ 4.3
50～100	242	11.3	6,937	17.0	△ 5.7
100～200	293	13.7	7,397	18.1	△ 4.4
200～300	207	9.7	4,639	11.4	△ 1.7
300～500	290	13.6	4,754	11.6	2.0
500～700	172	8.0	2,678	6.5	1.5
700～1,000	177	8.3	2,400	5.9	2.4
1000～1,500	131	6.1	1,494	3.7	2.4
1,500～2,000	63	2.9	524	1.3	1.6
2,000～3,000	36	1.7	396	1.0	0.7
3,000～5,000	46	2.2	294	0.7	1.5
5,000万～1億円	21	1.0	151	0.4	0.6
1億円以上	14	0.7	91	0.2	0.5

(5) 農産物販売金額規模別農業経営体数(家族経営)

前回と比べて、50～500万円までの経営体の割合が減少し、販売なし～50万円未満の経営体の割合が増加している。これは、集落営農等協業経営体で経営する耕地による販売は、その組織の販売額として計上し、農家の販売額は、その部分を除いて算定されるためであると考えられる。また、500万円以上の規模の経営体の割合がそれぞれ増加している。

<表12>

(単位:経営体、%)

区分	経営体数		経営体数 増減	構成比		構成比 増減
	H22	H17		H22	H17	
計	1,985	3,923	△ 1,938	100.0	100.0	-
販売なし	116	51	65	5.8	1.3	4.5
50万円未満	281	444	△ 163	14.2	11.3	2.9
50～100	242	570	△ 328	12.2	14.5	△ 2.3
100～200	292	904	△ 612	14.7	23.0	△ 8.3
200～300	207	591	△ 384	10.4	15.1	△ 4.7
300～500	290	614	△ 324	14.6	15.7	△ 1.1
500～700	170	279	△ 109	8.6	7.1	1.5
700～1000	174	211	△ 37	8.8	5.4	3.4
1000万円以上	213	259	△ 46	10.7	6.6	4.1

旧村別 総農家数及び土地持ち非農家数

※なお、本調査における農家数とは、集落営農等協業経営体に属している土地を経営耕地から除いた上で、農家の条件を満たす者のみ計上されている。

例えば、所有するすべての土地を集落営農で行っていた場合、『農家』には含まれず、『土地持ち非農家』へ計上される。

<表13>

(単位:戸)

旧村名	総農家数	農家数		土地持ち 非農家数
		販売農家 数	自給的 農家数	
酒田市	130	81	49	294
新堀村	30	17	13	358
広野村	82	59	23	228
袖浦村	527	444	83	363
東平田村	88	56	32	280
中平田村	118	85	33	276
北平田村	69	46	23	221
上田村	110	88	22	154
本楯村	163	110	53	221
南遊佐村	95	61	34	127
西荒瀬村	193	131	62	153
飛島村	-	-	-	98
一条村	68	48	20	152
観音寺村	150	109	41	138
大沢村	82	48	34	89
日向村	96	66	30	139
上郷村	110	77	33	199
松嶺町	37	15	22	77
内郷村	111	76	35	202
南平田村	230	181	49	296
田沢村	148	79	69	147
北俣村	68	48	20	84
合計	2,705	1,925	780	4,296

旧村別 経営耕地面積【農業経営体(総数)】

<表14>

(単位:a)

旧村名	経営耕地			
	総面積	田の面積	畑の面積	樹園地の面積
酒田市	67,695	65,666	1,864	165
新堀村	65,960	65,785	167	8
広野村	68,426	67,097	1,234	95
袖浦村	116,254	63,347	43,920	8,987
東平田村	61,619	59,794	1,187	638
中平田村	90,890	88,947	1,726	217
北平田村	60,688	60,542	106	40
上田村	62,330	60,411	1,854	65
本楯村	68,570	62,218	2,077	4,275
南遊佐村	43,910	41,347	2,553	10
西荒瀬村	53,180	45,885	7,010	285
飛島村	-	-	-	-
一条村	30,246	28,809	774	663
観音寺村	41,234	33,591	7,588	55
大沢村	19,521	18,679	765	77
日向村	41,713	40,011	1,522	180
上郷村	41,024	39,354	1,373	297
松嶺町	2,654	2,194	96	364
内郷村	49,046	46,112	1,058	1,876
南平田村	75,889	70,950	3,755	1,184
田沢村	34,328	33,823	490	15
北俣村	14,345	13,888	400	57
合 計	1,109,522	1,008,450	81,519	19,553

旧村別 経営耕地面積規模別経営体数【農業経営体(総数)】

<表15>

(単位:経営体、ha)

旧村名	経営体 総数	経営耕地規模別経営体数													
		経営耕地 なし	0.3未満	0.3～0.5	0.5～1.0	1.0～1.5	1.5～2.0	2.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～ 20.0	20.0～ 30.0	30.0～ 50.0	50.0～ 100.0	100以上
酒田市	95	4	10	12	19	7	7	4	12	11	3	1	1	2	2
新堀村	30	6	3	1	3	1	1	-	2	5	-	1	2	2	3
広野村	73	1	3	4	7	3	2	2	6	29	6	5	3	2	-
袖浦村	452	5	6	30	101	88	52	73	52	38	5	1	-	-	1
東平田村	63	4	7	20	6	1	3	5	9	6	1	-	-	-	1
中平田村	110	6	13	3	8	4	2	4	29	24	3	5	4	5	-
北平田村	48	3	7	13	12	5	-	2	3	2	-	-	-	-	1
上田村	101	1	6	2	16	7	6	15	21	14	6	3	2	2	-
本楯村	120	6	17	22	27	28	7	3	6	3	-	-	-	-	1
南遊佐村	66	3	2	7	12	10	2	4	12	11	2	-	-	-	1
西荒瀬村	150	8	7	20	31	10	7	14	19	26	4	1	2	1	-
飛島村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一条村	55	3	2	5	10	3	4	6	10	6	1	3	1	1	-
観音寺村	112	1	-	3	21	16	10	22	21	10	6	1	-	1	-
大沢村	53	1	-	11	12	8	5	4	5	2	2	1	2	-	-
日向村	73	1	-	5	7	7	6	21	13	6	-	3	3	1	-
上郷村	93	5	11	13	14	8	10	15	7	4	3	-	2	-	1
松嶺町	19	4	-	2	7	2	-	-	3	1	-	-	-	-	-
内郷村	89	3	4	9	17	4	7	13	10	9	4	4	5	-	-
南平田村	194	10	6	19	25	30	12	20	33	22	15	1	-	-	1
田沢村	88	1	-	14	23	15	5	10	3	8	5	3	-	1	-
北俣村	53	1	2	8	13	10	5	6	-	6	-	2	-	-	-
合計	2,137	77	106	223	391	267	153	243	276	243	66	35	27	18	12